

FileMaker® Pro 13

ネットワークインストール
セットアップガイド



© 2007-2013 FileMaker, Inc. All Rights Reserved.

FileMaker, Inc.
5201 Patrick Henry Drive
Santa Clara, California 95054

FileMaker、ファイルメーカー及び Bento は、FileMaker, Inc. の米国及びその他の国における登録商標です。ファイルフォルダロゴ、WebDirect 及び Bento ロゴは、FileMaker, Inc. の商標です。その他のすべての商標は該当する所有者の財産です。

FileMaker のドキュメンテーションは著作権により保護されています。FileMaker, Inc. からの書面による許可無しに、このドキュメンテーションを複製したり、頒布することはできません。このドキュメンテーションは、正当にライセンスされた FileMaker ソフトウェアのコピーがある場合そのコピーと共にのみ使用できます。

製品及びサンプルファイル等に登場する人物、企業、E メールアドレス、URL などのデータは全て架空のもので、実在する人物、企業、E メールアドレス、URL とは一切関係ありません。スタッフはこのソフトウェアに付属する「Acknowledgements」ドキュメントに記載されます。他社の製品及び URL に関する記述は、情報の提供を目的としたもので、保証、推奨するものではありません。FileMaker, Inc. は、これらの製品の性能について一切の責任を負いません。

詳細情報については www.filemaker.co.jp をご覧ください。

第 01 版

目次

| | |
|--|----|
| ネットワークインストールセットアップガイド | 4 |
| このガイドについて | 4 |
| ライセンスキーの検索 | 4 |
| Windows での FileMaker Pro のインストール | 4 |
| インストール方法の選択 (Windows) | 4 |
| Bonjour のインストールについて (Windows) | 5 |
| Microsoft .NET Framework のインストールについて | 5 |
| ネットワークボリュームを使用して FileMaker Pro をインストールする方法 (Windows) | 6 |
| コマンドラインからのインストール (Windows) | 7 |
| 設定支援サイレントインストールの設定 (Windows) | 7 |
| ライセンスキーの (*msi) インストーラへの保存 (Windows) | 9 |
| OS X での FileMaker Pro のインストール | 9 |
| インストール方法の選択 (OS X) | 9 |
| ネットワークボリュームを使用して FileMaker Pro をインストールする方法 (OS X) | 10 |
| Apple Remote Desktop を使用してリモートインストールを実行する方法 (OS X) | 10 |
| 登録ファイルについて | 11 |
| 登録プロパティの設定 | 11 |

ネットワークインストールセットアップガイド

このガイドについて

このドキュメントでは、FileMaker® Pro または FileMaker Pro Advanced のインストールをネットワーク上で設定する方法について説明します。

製品の概要および単一コピーのインストールについては、『インストールおよび新機能ガイド』を参照してください。FileMaker に関するその他の PDF ドキュメントは、www.filemaker.co.jp/documentation からダウンロードいただけます。

DVD または電子ダウンロードには、Windows または OS X 用の FileMaker Pro インストーラが含まれています。このソフトウェアの使用については、ライセンスアグリーメントの条件が適用されます。

ライセンスキーの検索

ソフトウェアをインストールするには、アルファベットと数字を含む 35 文字のライセンスキーを入力する必要があります。お客様には、ソフトウェアのダウンロードページへのリンクが含まれた電子メールが送信されます。ライセンスキーはそのページから入手できます。

重要 ボリュームライセンスまたはサイトライセンスを購入した場合、ライセンスキーは組織用にカスタマイズされています。ソフトウェアをインストールする際は、ライセンスアグリーメント（Proof of License）に記載されている組織名を正確に入力してください。組織名はライセンスアグリーメントに記載されているとおりに大文字小文字を区別する必要があります。

設定支援インストール、またはサイレント設定支援インストールを実行する際は、インストール中のライセンスキー検証の不一致を避けるために、FileMaker, Inc. によって提供されたボリュームライセンスキーを使用する必要があります。

Windows での FileMaker Pro のインストール

FileMaker Pro をインストールする前に、ライセンスキーを用意します。詳細については、上記の「ライセンスキーの検索」を参照してください。

メモ FileMaker Pro または FileMaker Pro Advanced をインストールするには、管理者権限が必要です。

インストール方法の選択（Windows）

インストールの設定を行う前に、ソフトウェアのインストール方法を決めます。ユーザが FileMaker Pro をインストールする際にライセンスキーと他の登録情報を入力する方法は、インストール方法により異なります。

インストール方法によっては、「Assisted Install.txt」というファイル名の登録ファイルを編集して、製品のインストール前に登録情報を用意することができます。登録ファイルの詳細については、11 ページの「登録ファイルについて」を参照してください。

| インストール方法 | 登録情報をインストーラに供給する方法 |
|--|--|
| 対話型インストーラ | インストーラの指示に従い、ユーザが登録情報を入力します。詳細については、『インストールおよび新機能ガイド』を参照してください。 |
| 6 ページの「ネットワークボリュームを使用して FileMaker Pro をインストールする方法 (Windows)」 | 登録ファイル「Assisted Install.txt」を編集してインストーラに登録情報を入力し、FileMaker Pro または FileMaker Pro Advanced のネットワークインストールを標準化します。この方法を使用すると、インストールをカスタマイズすることができ、ライセンスキーの提示や管理を行う必要がなくなります。FileMaker, Inc. では、この方法をお勧めします。 |
| 7 ページの「コマンドラインからのインストール (Windows)」 | ユーザがコマンドラインから登録情報を入力します。 |
| 7 ページの「設定支援サイレントインストールの設定 (Windows)」 | サイレントインストールの実行前に登録ファイル「Assisted Install.txt」を編集します。ユーザによる FileMaker インストーラとの対話は最小限に抑えられます。インストーラは登録ファイルから登録情報を読み取り、インストール画面は表示されません。 |
| 9 ページの「ライセンスキーの (*.msi) インストーラへの保存 (Windows)」 | ライセンスキーと登録情報をインストーラの *.msi ファイルに直接埋め込むことができます。変更内容はインストーライメージに維持されます。登録ファイルを編集する必要はなく、インストーラから取り除くことができます。 |

Bonjour のインストールについて (Windows)

データベースのブロードキャスト、および共有データベースを検出するために、Bonjour サービスをインストールする必要があります。Bonjour がインストールされていない場合や、Bonjour サービスが実行されていない場合、ユーザは [共有ファイルを開く] ダイアログボックスにホストされたデータベースを表示できません。IPv4、IPv6、およびデータベース名に手動で IP アドレスを入力できます。

Bonjour は、FileMaker Pro 13.msi または FileMaker Pro 13 Advanced.msi ではなく、フルユーザインターフェースモードまたはサイレントモードで Setup.exe を使用した場合にインストールできます。

セットアップ操作中には、次のいずれかが発生します。

- Bonjour が検出されない場合は、インストーラによって警告が表示され、Bonjour をインストールするようにメッセージが表示されます。
- 旧バージョンの Bonjour が検出された場合は、インストーラによって警告が表示され、旧バージョンの Bonjour を手動でアンインストールし、FileMaker でサポートされているバージョンの Bonjour を手動でインストールするメッセージが表示されます。
- 同じバージョンまたは以降のバージョンの Bonjour が検出された場合は、インストーラによる警告は表示されず、Bonjour のインストールは行われません。

Bonjour を手動でインストールすることもできます。Bonjour フォルダ (Setup.exe のフォルダと同じフォルダにあります) を開き、システムに従って「32-bit」または「64-bit」フォルダを開いてフォルダ内の Bonjour インストーラを実行します。

Microsoft .NET Framework のインストールについて

Microsoft .NET Framework は、多くの Windows アプリケーションに共通の機能を提供します。FileMaker Pro を実行するには、システムに特定のバージョンの .NET をインストールする必要があります。

.NET がインストールされていない場合、FileMaker Pro の起動時にエラーメッセージが表示され、FileMaker Pro は実行されません。

FileMaker Pro のインストール中、インストーラは次の処理を行います。

- .NET の必要なバージョンが検出された場合は、インストーラによって FileMaker Pro のインストールが進められます。
- .NET の必要なバージョンが検出されない場合は、インストーラによって警告が表示され、.NET をインストールするメッセージが表示されます。.NET インストーラには必要なファイルをダウンロードするためのインターネットアクセスが必要です。この時点で .NET をインストールしないことを選択する場合、後で手動でインストールすることも可能ですが、.NET がインストールされるまで FileMaker Pro は使用できません。

.NET を手動でインストールする場合、次の操作を行うようにユーザに指示します。

1. FileMaker Pro インストールフォルダを開きます。
2. 「Files」フォルダを開き、「DotNet」フォルダを開きます。
3. アイコンをダブルクリックします。
4. 画面の指示に従って .NET をインストールします。

ネットワークボリュームを使用して FileMaker Pro をインストールする方法 (Windows)

FileMaker インストールファイルをネットワークで利用できるようにするには、次の操作を行います。

1. ネットワークボリューム上に、FileMaker Pro インストーラファイルを格納するフォルダを作成します。
2. 製品 DVD 上の「Files」フォルダを検索し、そこに格納されているファイルをネットワークボリューム上に作成したフォルダにコピーします。
メモ インストールファイルをネットワークボリュームにコピーするのではなく、ネットワークで電子ダウンロードまたは製品 DVD を共有した場合：
 - インストーラは 1 つしか利用できません。つまり、DVD を実行しているコンピュータのプラットフォームでのみインストーラを使用できます。
 - 登録ファイルは使用できません。11 ページの「登録ファイルについて」を参照してください。
3. 設定支援インストールを設定するには、メモ帳などのテキストエディタを使用して、「Files」フォルダに格納されている登録ファイル「Assisted Install.txt」を開いてください。
4. 登録ファイルを編集します。11 ページの「登録ファイルについて」を参照してください。
5. 変更を標準テキストとして保存します。

FileMaker Pro または FileMaker Pro Advanced をインストールするには、次の操作を行うようにユーザに指示します。

1. インストールファイルが保存されているボリュームをマウントします。
2. 「Setup.exe」ファイルをダブルクリックします。
3. Windows ユーザの場合は、ファイルを開く場合のセキュリティ警告ダイアログボックスが表示されます。[実行] をクリックしてインストールを続行します。

コマンドラインからのインストール (Windows)

「Assisted Install.txt」ファイルを使用しなくても、コマンドラインから FileMaker 製品をインストールすることができます。コマンドラインからのインストールでは、管理者としてコマンドプロンプトを実行する必要があります。

1. 次のいずれかの操作を行います。

- Windows 7 の場合: [スタート]メニュー>[すべてのプログラム]>[アクセサリ]を選択し、[コマンドプロンプト]を右クリックして、[管理者として実行]を選択します。
- Windows 8 の場合: [スタート]画面を右クリックし、[すべてのアプリ]を選択し、[コマンドプロンプト]を右クリックして、[管理者として実行]を選択します。

2. [管理者: コマンドプロンプト] ウィンドウにコマンドを入力します。

例:

```
msiexec -i "FileMaker Pro.msi" AI_USERNAME="John Lee" AI_ORGANIZATION="FileMaker, Inc."
AI_LICENSEKEY=12345-12345-12345-12345-12345-12345-12345
```

プロパティ名は大文字にする必要があります。詳細については、11 ページの「登録プロパティの設定」を参照してください。

設定支援サイレントインストールの設定 (Windows)

サイレントインストール中は、ユーザによる FileMaker インストーラの対話は最小限に抑えられます。必要なインストール情報は登録ファイル「Assisted Install.txt」から読み取られ、インストール画面は表示されません。「Assisted Install.txt」の設定については、11 ページの「登録ファイルについて」を参照してください。

サイレントインストールを実行する方法は2つあります。ユーザは次の方法でインストールを行うことができます。

- マウントされたボリューム上にある「Setup.exe」ファイルをダブルクリックする。この方法では、「Setup.ini」ファイルを変更する必要があります。詳細については、次のセクションを参照してください。
- コマンドラインでインストールコマンドと該当するオプションを入力する。詳細については、8 ページの「コマンドラインを使用したサイレントインストールの実行」を参照してください。

サイレントインストールのための「Setup.ini」の変更

1. FileMaker Pro または FileMaker Pro Advanced のフォルダ内にある「Files」フォルダにある「Setup.ini」ファイルを検索します。
2. メモ帳などのテキストエディタを使用して「Setup.ini」を開きます。
3. [Startup] セクションを検索して、CmdLine= の後に次のいずれかを入力します。

| 目的 | CmdLine= の後に追加するオプションの指定方法 |
|--|-------------------------------------|
| ユーザインターフェースを表示しないで FileMaker 製品をインストールする (サイレントインストール) | CmdLine=/q |
| インストール中に進行状況およびキャンセルボタンを表示する | CmdLine=/qb+ |
| FileMaker Pro または FileMaker Pro Advanced をローカルコンピュータのデフォルト以外の場所にインストールする | CmdLine=/qb+ INSTALLDIR=installpath |

メモ Installpath には FileMaker 製品のフォルダをインストールするユーザのコンピュータ上の保存場所を入力します。空白は、ダブルクォーテーションで囲まれている場合を除いてパスには使用できません。次のパスの例では、C: ドライブにある「Applications」フォルダ内の「FileMakerPro13」フォルダにインストールされます。

C: ¥ Applications ¥ FileMakerPro13

4. 「Setup.ini」 ファイルを保存して閉じます。
5. マウントされたボリューム上にある「Setup.exe」 ファイルをダブルクリックするようにユーザに指示します。

コマンドラインを使用したサイレントインストールの実行

ユーザは、コマンドラインから FileMaker 製品をインストールできます。この方法を使用する場合、インストールが成功したかどうかをインストーラによってユーザに通知することができます。コマンドラインのサイレントインストールでは、管理者としてコマンドプロンプトを実行する必要があります。

1. 次のいずれかの操作を行います。
 - Windows 7 の場合:[スタート]メニュー>[すべてのプログラム]>[アクセサリ]を選択し、[コマンドプロンプト]を右クリックして、[管理者として実行]を選択します。
 - Windows 8 の場合:[スタート]画面を右クリックし、[すべてのアプリ]を選択し、[コマンドプロンプト]を右クリックして、[管理者として実行]を選択します。
2. [管理者: コマンドプロンプト] ウィンドウにコマンドを入力します。

コマンドラインから設定支援インストールを実行する際のオプションは次のとおりです。

| 目的 | ユーザにコマンドウィンドウでの入力を指示する内容 |
|--|---|
| ユーザインターフェースを表示しないで FileMaker 製品をインストールする (サイレントインストール) | "pathname ¥ setup.exe" /s /v/qn |
| ユーザインターフェースを表示しないで FileMaker 製品をアンインストールする (サイレントアンインストール) | "pathname ¥ setup.exe" /s /x /v/qn |
| 必要に応じて FileMaker 製品をインストールする - 現在のユーザにアドバタイズ (サイレントアドバタイズインストール) | "pathname ¥ setup.exe" /s /v /ju |
| 必要に応じて FileMaker 製品をインストールする - 全ユーザにアドバタイズ(サイレントアドバタイズインストール) | "pathname ¥ setup.exe" /s /v /jm |
| FileMaker 製品のインストールに成功したかどうかを示すダイアログボックスを表示する | "pathname ¥ setup.exe" /s /v/qn+ |
| インストール中に進行状況およびキャンセルボタンを表示する | "pathname ¥ setup.exe" /s /v/qb+ |
| FileMaker Pro をローカルコンピュータのデフォルト以外の場所にインストールする | "pathname ¥ setup.exe" /s /v"/qb+ INSTALLDIR=¥ "installpath ¥ FileMaker Pro 13 ¥ "" |
| FileMaker Pro Advanced をローカルコンピュータのデフォルト以外の場所にインストールする | "pathname ¥ setup.exe" /s /v"/qb+ INSTALLDIR=¥ "installpath ¥ FileMaker Pro 13 Advanced ¥ "" |

メモ

- Pathname にはネットワークボリューム上に作成したインストーラのディレクトリの場所を入力します。
- Installpath には FileMaker 製品のフォルダをインストールするユーザのコンピュータ上の保存場所を入力します。空白は、ダブルクォーテーションで囲まれている場合を除いてパスには使用できません。
- インストーラによりコンピュータを再起動するように求められることがあります。

ライセンスキーの (*msi) インストーラへの保存 (Windows)

ライセンスキーと登録情報を *.msi インストーラに埋め込むことができます。この方法を選択する場合は、*.msi ファイルに他の変更を行なわないようにしてください。Orca の詳細については、www.microsoft.com/ja-jp を参照してください。

1. Orca を使用して FileMaker Pro 13.msi を開きます。
2. プロパティテーブルで [AI_USERNAME]、[AI_ORGANIZATION]、[AI_LICENSEKEY] に必要な値を入力します。
11 ページの「登録プロパティの設定」を参照してください。
3. FileMaker Pro 13.msi ファイルを保存します。
4. コマンドラインを使用してインストーラを実行するか、マウントされたボリューム上にある「Setup.exe」ファイルをダブルクリックするようにユーザに指示します。

OS X での FileMaker Pro のインストール

FileMaker Pro をインストールする前に、ライセンスキーを用意します。詳細については、4 ページの「ライセンスキーの検索」を参照してください。

メモ FileMaker Pro または FileMaker Pro Advanced をインストールするには、管理者権限が必要です。

インストール方法の選択 (OS X)

インストールの設定を行う前に、ソフトウェアのインストール方法を決めます。ユーザが FileMaker Pro をインストールする際にライセンスキーと他の登録情報を入力する方法は、インストール方法により異なります。

インストール方法によっては、「Assisted Install.txt」というファイル名の登録ファイルを編集して、製品のインストール前に登録情報を用意することができます。登録ファイルの詳細については、11 ページの「登録ファイルについて」を参照してください。

| インストール方法 | 登録情報をインストーラに供給する方法 |
|---|--|
| 対話型インストール | インストーラの指示に従い、ユーザが登録情報を入力します。詳細については、『インストールおよび新機能ガイド』を参照してください。 |
| 10 ページの「ネットワークボリュームを使用して FileMaker Pro をインストールする方法 (OS X)」 | 登録ファイル「Assisted Install.txt」を編集してインストーラに登録情報を入力し、FileMaker Pro または FileMaker Pro Advanced のネットワークインストールを標準化します。この方法を使用すると、インストールをカスタマイズすることができ、ライセンスキーの提示や管理を行う必要がなくなります。FileMaker, Inc. では、この方法をお勧めします。 |
| 10 ページの「Apple Remote Desktop を使用してリモートインストールを実行する方法 (OS X)」 | Apple Remote Desktop を使用してソフトウェアをインストールする前に、登録ファイル「Assisted Install.txt」を編集して登録情報を入力し、登録 .pkg ファイルを作成するスクリプトを実行します。 |

ネットワークボリュームを使用して FileMaker Pro をインストールする方法 (OS X)

FileMaker のインストールファイルをネットワークで利用できるようにするには、まずインストールファイルのディスクイメージ (.dmg ファイル) を作成し、ディスクイメージをネットワークボリュームにコピーします。

1. ネットワークボリューム上に、FileMaker Pro インストーラファイルを格納するインストーラフォルダを作成します。
2. 製品 DVD 上で次のファイルを検索し、インストーラフォルダにコピーします。
 - 「FileMaker Pro 13.pkg」または「FileMaker Pro 13 Advanced.pkg」 インストーラアプリケーション
 - 登録ファイル (Assisted Install.txt)
 - 登録ツール (Registration.app)
3. 設定支援インストールを設定するには、TextEdit などのテキストエディタを使用して、「Assisted Install.txt」ファイルを開きます。
4. 登録ファイルを編集します。11 ページの「登録ファイルについて」を参照してください。
5. 「Assisted Install.txt」ファイルに加えた変更を標準テキストとして保存します。
6. インストーラアプリケーション、登録ファイル、および登録ツールを格納するインストーラフォルダのディスクイメージを作成します。ディスクイメージの作成の詳細については、OS X ヘルプを参照してください。
7. 新規インストーラディスクイメージ (.dmg ファイル) をネットワークドライブにコピーします。

メモ OS X では、FileMaker 製品はインストーラにより、現在の OS X システムの言語と同じ言語を使用してインストールされます。別の言語で FileMaker 製品をインストールするユーザは、FileMaker 製品をインストールする前に、システム環境設定の [言語とテキスト] を使用して OS X の言語を変更しておく必要があります。

FileMaker Pro または FileMaker Pro Advanced をインストールするには、次の操作を行うようにユーザに指示します。

1. インストールファイルが保存されているボリュームをマウントします。
2. ネットワークドライブのディスクイメージ (.dmg ファイル) をダブルクリックします。
3. 「FileMaker Pro 13.pkg」または「FileMaker Pro 13 Advanced.pkg」 インストーラアプリケーションをダブルクリックします。

Apple Remote Desktop を使用してリモートインストールを実行する方法 (OS X)

Apple Remote Desktop を使用すると、FileMaker Pro のリモートインストールを実行できます。リモートインストールの詳細については、Apple Remote Desktop のヘルプを参照してください。

「Assisted Install.txt」ファイルを編集した後、Apple Remote Desktop と互換性のある登録 .pkg ファイルを作成できます。

1. 「ネットワークボリュームを使用して FileMaker Pro をインストールする方法 (OS X)」の手順 1 から 5 に従ってインストーラフォルダと登録ファイルを設定します。
2. FileMaker Pro 用の Apple Remote Desktop Deployment スクリプトをダウンロードします。スクリプトは <http://www.filemaker.com/documentation> の fmp_osx_deployment.zip ファイルから入手できます。
3. fmp_osx_deployment.zip ファイルをダブルクリックして、Apple Remote Desktop Deployment スクリプト (AppleRemoteDesktopDeployment.sh) を展開します。
4. [Finder] ウィンドウを開き、[移動] メニューから [ユーティリティ] を選択します。
5. ユーティリティー一覧から「ターミナル」をダブルクリックします。
6. 「cd "<スクリプトへのパス>”を入力し、return キーを押します。

7. 「sudo chmod +x ./AppleRemoteDesktopDeployment.sh」を入力し、return キーを押します。パスワードの入力を求めるプロンプトが表示されたら、管理者のパスワードを入力します。
8. 「./AppleRemoteDesktopDeployment.sh “< インストーラフォルダへのパス >”」を入力し、return キーを押します。

スクリプトによって、Apple Remote Desktop で使用できる登録 .pkg ファイルがインストーラフォルダに作成されます。

登録ファイルについて

設定支援インストールを使用すると、複数のコンピュータを利用する環境において、FileMaker Pro または FileMaker Pro Advanced のインストールが容易になります。インストーラで必要になる情報（汎用ユーザ名、組織名、ライセンスキー、インストールオプション）を登録ファイルに入力しておき、そのファイルをネットワークに保存すると、ユーザが介入しなくても FileMaker Pro をインストールできます。

登録ファイル「Assisted Install.txt」は、FileMaker Pro または FileMaker Pro Advanced を組織のコンピュータにインストールするために、FileMaker インストーラによって使用されます。Windows または OS X で設定支援インストールを行うことができますが、Assisted Install.txt ファイルはプラットフォーム固有であり、異なるプラットフォームで兼用はできません。

メモ FileMaker Pro 7 より前のバージョンでは、登録ファイルの名前は、「FileMaker Pro x.pdf」でしたが、これは Adobe PDF ファイルではありません。Microsoft Package Definition File 形式に準拠する標準テキストファイルです。このファイルは引き続き存在し、Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM) 経由で FileMaker Pro を一括配備する際に必要です。SCCM を使用してインストールする場合以外は、このファイルを編集しないでください。使用する場合は、インストーラパッケージを作成した後、FileMaker Pro x.pdf プロパティを開きます。[一般] タブの [コマンドライン] に「Setup.exe /S/w/qn」と入力し、[OK] をクリックして、インストールを実行します。

登録プロパティの設定

このセクションでは、登録ファイル「Assisted Install.txt」のプロパティおよび変数について説明します。

メモ プロパティ名 (AI_*) は大文字にする必要があります。組織名を除く変数の設定では、大文字と小文字は区別されません (AI_ORGANIZATION の説明を参照してください)。

| 目的 | 実行方法 |
|--|---|
| すべてのインストールで使用するユーザ名を入力する | AI_USERNAME= の後に名前を入力します。 この変数を空白のままにすると、インストーラにより、Windows を登録する際に使用された名前 (Windows) またはアカウントのユーザ名 (OS X) が使用されます。 |
| すべてのインストールで使用する所属名を入力する | AI_ORGANIZATION= の後に名前を入力します。 ボリュームライセンスまたはサイトライセンスを購入した場合は、ライセンスアグリーメント (Proof of License) に記載されている組織名を正確に入力してください。組織名はライセンスアグリーメントに記載されているとおりに大文字小文字を区別してください。 Windows：この変数を空白のままにすると、インストーラにより、Windows を登録する際に使用された所属名が使用されます。 |
| すべてのインストールで使用する有効なライセンスキーを入力する | AI_LICENSEKEY= の後にライセンスキーを入力します。 ライセンスキーの詳細については、4 ページの「ライセンスキーの検索」を参照してください。 |
| Windows：FileMaker 製品の言語バージョンを指定する。この設定は、設定支援サイレントインストールを実行した場合にのみ有効です。7 ページの「設定支援サイレントインストールの設定 (Windows)」を参照してください。 | AI_LANGUAGE= の後に言語の名前を入力します。 有効なエントリは、BrazilianPortuguese、Chinese Simplified、Dutch、English、French、German、Italian、Japanese、Korean、Spanish、または Swedish です。 OS X：言語設定を指定しません。FileMaker インストーラはオペレーティングシステムの現在の言語設定を使用します。 |

| 目的 | 実行方法 |
|---|--|
| Windows：すべてのユーザが FileMaker 製品を利用できるか、それとも現在のユーザのみが利用できるかを指定する | <p>AI_APPLICATIONUSERS= の後に次のいずれかを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ AllUsers - このコンピュータにログインするすべてのユーザが FileMaker 製品を利用できるようにします。 ■ OnlyCurrentUser - インストール時にログオンしたユーザアカウントのみが FileMaker 製品を使用できるようにします。 |
| ユーザによる新規データベースの作成を禁止または許可する | <p>AI_NONEWDATABASES= の後に次のいずれかを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 1 - ユーザによるデータベース作成を禁止します。 ■ 0 - ユーザによるデータベース作成を許可します。 <p>詳細については、13 ページの「新規データベース作成の制限」を参照してください。</p> |
| Windows：デスクトップとクイック起動ツールバーに FileMaker 製品のショートカットを作成する | <p>AI_SHORTCUTS= の後に次のいずれかを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 1 - ショートカットを作成します。 ■ 0 - ショートカットを作成しません。 <p>詳細についてはこの表の最後にあるメモを参照してください。</p> |
| オンライン登録オプションを示すダイアログボックスを表示または非表示にする | <p>AI_REGISTRATION= の後に次のいずれかを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 0 - ユーザ登録のダイアログボックスを非表示にします。FileMaker 製品により、登録情報の入力を求めるメッセージは表示されません。 ■ 1 - ユーザ登録のダイアログボックスを表示します。 |
| インストール時に登録情報のダイアログボックスを表示または非表示にする | <p>AI_SKIPDIALOG= の後に次のいずれかを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 1 - 登録情報のダイアログボックスを非表示にします。ユーザは、インストール時に名前と所属の情報を入力する必要はありません。また、ライセンスキーを確認する必要はありません。(入力したキーが無効な場合は、登録情報のダイアログボックスが表示されます。) ■ 0 - インストール時に登録情報のダイアログボックスを表示します。 <p>詳細についてはこの表の最後にあるメモを参照してください。</p> |
| インストール時に [更新の通知] ダイアログボックスを有効または無効にする | <p>AI_DISABLEUPDATENOTIFY= の後に次のいずれかを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 1 - [更新の通知] ダイアログボックスを無効にします。ソフトウェアアップデートが利用可能な場合に、ユーザに対して通知は行われません。また、[ヘルプ]メニュー>[ソフトウェア更新の確認...] および [一般] 環境設定オプションの項目は FileMaker 製品で使用できなくなります。 ■ 0 - [更新の通知] ダイアログボックスを有効にします。ソフトウェアアップデートが利用可能な場合に、ユーザに対して通知が行われます。これはデフォルトの設定です。 <p>更新の通知の詳細については、『インストールおよび新機能ガイド』を参照してください。</p> |
| インストール時に [新しいバージョンの通知] ダイアログボックスを有効または無効にする | <p>AI_DISABLEUPDATENOTIFY= の後に次のいずれかを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 1 - [新しいバージョンの通知] ダイアログボックスを無効にします。新しいバージョンが利用可能な場合に、ユーザに対して通知は行われません。 ■ 0 - [新しいバージョンの通知] ダイアログボックスを有効にします。新しいバージョンが利用可能な場合に、ユーザに対して通知が行われます。これはデフォルトの設定です。 |
| ソリューションファイルによってプラグインがインストールされるのを禁止または許可する | <p>AI_DISABLEPLUGINS= の後に次のいずれかを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 1 - [プラグイン] 環境設定の [ソリューションにファイルのインストールを許可] を無効にして、プラグインがインストールされるのを禁止します。 ■ 0 - プラグインがインストールされるのを許可します。 <p>メモ ソリューションファイルによっては、正しく動作するためにプラグインが必要な場合があります。詳細については、ソリューション開発者に問い合わせてください。プラグインのインストールと更新の詳細については、「ヘルプ」を参照してください。</p> |
| [ODBC/JDBC を有効にする...] コマンドを表示または非表示にします。 | <p>AI_DISABLEEXDBC= の後に次のいずれかを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 1 - [ファイル] メニュー>[共有設定]>[ODBC/JDBC を有効にする...] コマンドを表示しません。 ■ 0 - [ファイル] メニュー>[共有設定]>[ODBC/JDBC を有効にする...] コマンドを表示します。 |

| 目的 | 実行方法 |
|--|---|
| [FileMaker WebDirect の構成 ...] コマンドを表示または非表示にします。 | AI_DISABLEIWP= の後に次のいずれかを入力します。 <ul style="list-style-type: none"> 1-[ファイル]メニュー>[共有設定]>[FileMaker WebDirect の構成...]コマンドを表示しません。 0-[ファイル]メニュー>[共有設定]>[FileMaker WebDirect の構成...]コマンドを表示します。 |

メモ Windows : AI_SHORTCUTS および AI_SKIPDIALOG のプロパティは、インストーラがショートカットの作成についてユーザにプロンプトを表示するかどうかを決定します。

| AI_SHORTCUTS= | AI_SKIPDIALOG= | 結果 |
|---------------|----------------|--|
| 1 | 1 | プロンプトなし。ショートカットを作成します。 |
| 0 | 1 | プロンプトなし。ショートカットを作成しません。 |
| 1 | 0 | ダイアログボックスが表示されます。ショートカット作成のオプションは、ダイアログボックスで選択されます。 |
| 0 | 0 | ダイアログボックスが表示されます。ショートカット作成のオプションは、ダイアログボックスで選択されません。 |

新規データベース作成の制限

ユーザが FileMaker データベースを作成できないように、AI_NONEWDATABASES プロパティを設定することができます。このオプションが設定されている場合、ユーザが次の操作を実行しようとすると、FileMaker 製品により警告メッセージが表示されます。

- [ファイル]メニュー>[新規データベース...]を選択する。
- [FileMaker クイックスタート]画面からデータベースを作成する。
- FileMaker Pro ファイルとしてエクスポートする。
- [ファイル]メニュー>[名前を付けて保存...]を選択する。
- [新規データベース]ダイアログボックスを開く。
- FileMaker Pro ファイルを修復する。
- [ファイル]メニュー>[開く...]を選択してタブ区切りテキストなどのファイルフォーマットを新しい FileMaker Pro ファイルに変換する。
- Apple Event を実行してファイルを別のフォーマットで開く。
- Apple Event の do menu コマンドを実行してファイルを作成する。
- 上記の操作を行うスクリプトを実行する。
- 上記の操作を行うカスタムメニュー項目を選択する。

新規データベースの作成を有効にするには、AI_NONEWDATABASES 変数を 0 に設定して FileMaker ソフトウェアを再インストールする必要があります。